

校友会誌

《第 61 号》

かもめ

令和 2 年 3 月 11 日

発行

名古屋工学院専門学校校友会

名古屋市熱田区神宮四丁目 7-21

<http://koyukai.denpa.ac.jp/>

『人生の節目』

会長 堀内 豊

第 88 回卒業式を迎えると、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

また、会員の皆様におかれましては、日頃より校友会活動にご理解・協力を賜り感謝申し上げます。

長い人生「節目」となる時が一生のうち何回かあると思います。今年、卒業される皆さんは、本校を卒業し、実社会人へ果立っていくことが初めての節目となり、この先是結婚、そして、子息の誕生などが挙げられるのではないかでしょうか。

節目となる時には、迷つたり思い悩むことがたくさんあると思います。その時にアドバイスをもらえるのが、恩師やクラスメイトではないかと思います。しかし、社会人になると、一人で決断することが多くなり、こんな時にアドバイスがもらえる

ような人と出会えると良いですね。

「隣の芝生は、きれいに見える」という言葉があります。社会に巣立ち、数ヶ月もすると仕事の壁に突き当たることがあるでしょう。そんな時、

自分の会社、自分の職業あるいは、自分の仕事よりもっと恵まれたもつと楽な仕事があるようになります。自分の仕事がうまくはかどらないとき、人間関係がこじれたとき、自分の欲求や望みの方が高くなつたときに、「もっと楽に働くことができ、給料がもらえてるところは無いのか」など辛さから逃避したくなることが主なる要因かと思います。

その時には、自分の職業選択をなげくよりも、今の仕事をしっかりとこなし、人生の壁を乗り越え、人生の節目を正しく乗り越えてほしいと思います。

4 月からは、新社会人としての生活が始まります。社会における厳しい生活に耐え、母校で学

『ONE TEAM』

校長 小川 義則

昨年、平成の時代が終わり、「令和」という新しい時代がやってきました。

「令和」という言葉の意味は、存じの通り、「世界の調和と永遠の平和の達成」です。

英語では、「beautiful harmony」と訳されています。元号は、歴史的に「國家の大理想を表徴する」ものであり、過去の元号は国の体制に対するメッセージ色が強く出していたように思います。しかし、「令和」にはその意味合いからも、私たち国民に向けて、「皆で手を取り合って平和に向けて邁進しましょう」という直接的な意味が含まれているのではないかと感じます。

まさに、そんな「令和」最初の年に、ラグビー

ワールドカップが史上初、日本で開催され、日本

んだそれぞれの専門知識や技術研鑽を忘れることがなく、一步一歩地道に邁進してくれることを期待しています。



本校が開学されあと 3 年、校友会が創立してあと 5 年で 70 周年を迎えます。校友会では、創立 70 周年記念事業を実施すべく準備を行っています。事業の一環として会員名簿整備を目的に、約 5 万 5 千名の方に住所データ等の調査を目的としたお手紙を差し上げました。お手紙が届かなかつた方や、その後住所等の変更のあった方は、校友会事務局までご連絡をお願いします。また、卒業生の皆様には、お時間がございましたら母校をお訪ねいただき、近況報告等いただけるとありがたく思います。結びになりますが、卒業生の皆様のご健勝ご活躍をお祈りしますとともに、今後とも母校校友会へのご支援・ご協力をお願いする次第です。

こそ、日本が、そして世界が「ONE TEAM」となって「beautiful harmony」を実現する」と大切なのではないでしょうか？



さて、この「かもめ 61 号」が令和初の「かもめ」となります。この新しい時代に日本の、そして世界の諸問題を解決し、平和でより繁栄できる時代になるよう期待したいものです。卒業生の皆様におかれましても、ますますの「活躍」と「健勝」を祈念しております。今後とも校友会活動にご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



日本代表を支えた言葉が「ONE TEAM」です。昨年の流行語大賞にもなりました。

日本代表と言つても他のスポーツと違い、外国人出身者が多く、さまざまな言語や文化が集まる選手たちが、「一つ」になつてつかんだ成績がベスト 8 とも言えます。選手だけでなく、選手を支えるスタッフ、そしてサポーター一人一人が「ONE TEAM」となれたからこそそのものであると思います。

また、この「ONE TEAM」には令和の文字に込められた「beautiful harmony」が見事に投影されているではありませんか。

今、日本はおろか、世界各国で地球温暖化による大きな災害が起こっています。世界情勢を見て、もそれぞれの国や人種による思想や考えの違いで、大きな緊張を抱えています。こんな時だから

校友會事業經過報告書

平成30年度

年 月 日	事 業 内 容
30 · 5 · 20 11	校友会常任役員会開催
30 · 5 · 20 11	情報総合学科同窓会開催
30 · 5 · 20 11	校友会役員会開催
30 · 5 · 20 11	長野支部総会
30 · 5 · 20 11	石川支部総会
30 · 5 · 20 11	沖縄支部役員会開催
30 · 5 · 20 11	沖縄支部総会開催
30 · 5 · 20 11	静岡支部役員会開催
30 · 5 · 20 11	静岡支部総会開催
30 · 5 · 20 11	校友会メールマガジン 【かもめルル No. 41】配信
30 · 5 · 20 11	アマチュア無線クラブ
30 · 5 · 20 11	OB 同窓会開催
30 · 5 · 20 11	学生会同窓会開催
30 · 5 · 20 11	校友会コーナー運営
30 · 5 · 20 11	空手道部 OB 同窓会開催
30 · 5 · 20 11	校友会常任役員会開催
30 · 5 · 20 11	校友会賛・授与
30 · 5 · 20 11	校友会誌「かもめ」
30 · 5 · 20 11	第 60 号発刊

校友会誌『かもめ』

第60号発刊

静岡支部役員会開催

役員会開催

各支部長
さよ

および支部担当

▽石川支部長 中村 高清
昭和60年 テレビ工学科卒
・支部担当 石黒 誠

▽沖縄支部長 南風原 武則
平成4年 電気工学科卒

・支部担当 小林 真治

▽静岡支部長 富田 明

▽静岡支部長 富田 明
昭和53年 電気工学科卒
・支部担当 平石 義博

▽長野支部長 市瀬 耀一

平成29年電気工学研究科卒
・支部担当 松橋 順也

☆支部担当連絡先

名古屋工学院専門学校

所在地
名古屋市熱田区

神宮四丁目7-21

▽富山支部長 島 大地

平成24年 電気工学研究科卒
・支部担当 村崎 博樹



第33期校友会常任役員

参	相談役	会計監査	幹事長	幹事長	幹事長	副会長	副会長	書記	会長												
与	池戸	小川	安田	小木曾	安藤	富田	谷口	村崎	石黒	長谷川和宣	梶間	吉市	松橋	石原	根岸	井東	松岡	小林	神谷	平石	堀内
	博行	義則	英樹	吉郎	巧	正樹	順一	博樹	誠	泰	雅邦	卓也	雅巳	昭	秀樹	昇	真治	裕之	義博	豊	敬典

(3)

平成30年度 校友会収支決算書（一般会計の部）

収入の部	合計金額	21,364,813円	
支出の部	合計金額	21,364,813円	
収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越金	19,172,740	会誌発行費	351,208
校友会活動費	2,180,000	支部結成・維持費	1,387,475
預金利息	73	同窓会・結成援助費	199,850
電波学園活動援助金	12,000	援助費	5,000
		講演会費	35,798
		慶弔費	2,570
		備品消耗品費	4,661
		校友会賞費	47,631
		功労賞費	50,000
		ホームページ保守費	162,540
		業務費	175,000
		会長交際費	74,160
		学園祭協賛費	62,470
		予備費	1,080
		校友会70周年記念事業特別会計	12,458,704
		次年度繰越金	6,346,666
合 計	21,364,813	合 計	21,364,813

平成30年度 校友会収支決算書（特別会計の部）

<奨学金特別会計>	収入の部	合計金額	29,805,306円
	支出の部	合計金額	29,805,306円

収入の部	支出の部		
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越金	12,488,520	今年度貸付金	0
前年度貸付繰越金	9,416,000	事務・通信費	140
一般会計から	0	貸付繰越金	6,816,000
預金利息	786	次年度繰越金	14,562,662
奨学基金	7,900,000	奨学基金	7,900,000
		弁護士手数料	526,504
合 計	29,805,306	合 計	29,805,306

<70周年特別記念事業特別会計>	収入の部	合計金額	12,458,782円
	支出の部	合計金額	12,458,782円

収入の部	支出の部		
科 目	金 額	科 目	金 額
一般会計から	¥12,458,704	校友会名簿整備費	¥4,772,065
預金利息	¥78	通信費	¥2,310
		振込手数料	¥864
		次年度繰越金	¥7,683,543
合 計	¥12,458,782	合 計	¥12,458,782

「マジメにスゴイ」を育てる

情報学科

情報処理技術者試験がマジメにスゴイ。プログラマを目指すなら取つておきたい基本情報に合格者が多数出たこともスゴイのですが、スペシャリスト試験合格記録がついに「20年連続」達成しました。学生がまだ赤ちやんだったころから、ずーっと合格者を出しています。最近は合格者を出すのが当たり前になっています。当たり前になりすぎて今度は三冠、四冠をいかに出すかがポイントになつてきています。ネットワーカス、ペシャリスト、データベースス・ペシャリスト、情報処理安全確保支援士、さらにエンベデッドシステムペシャリスト。

合格する学生はマジメにスゴイ！



10月に高度情報処理試験に合格した学生

卒業研究もマジメにスゴイ。毎年、卒業研究ではスゴイ研究、作品が生み出さ

れています。特に今年目立つたのはA.I関連の研究です。

雀の得点を計算するものもありました。そろえた牌の写真を撮ると、役を判断したり、点数を計算してくれます。これは面白い、マジメにスゴイ！

二〇一九年度にスタートしたA.Iシステム科は、ディープラーニングに代表されるA.Iの技術を学んでいます。A.Iに欠かせないPython言語の検定や、ディープラーニングを事業に活かすための知識を有しているかを確認するG検定などにチャレンジしています。A.Iを深く学べる学科はマジメにスゴイ！

授業以外でもマジメにスゴイ。昭和区とのコラボレーションでShowMapというアプリの開発を続けています。次年度の開発につなげられるように、現在も奮闘中です。学生主催の勉強会も実施しています。主催するのはNKC-UG。学生たちが作った非公式グループです。3年前に卒業した情報セキユリティ学科の先輩が立ち上げました。学園祭では大きなイベントを実施したりと、少しづつ活動の輪も広がっています。最近は、Hack-Uというコンテストで優秀賞を取つたりとマジメにスゴイ！

これからもマジメにスゴイエンジニアを育てられるように、教員一丸となって頑張ります！

(今年は年男)

「私たちの原点回帰」

メディア学科

元号も改まつた今年度は、社会のあちこちで「原点」が注目される年でした。常に新たな取り組みを手がけているメディア学科でも、原点回帰ともいべき成果が目を引きました。

●ゲームCG分野では、なんと言つてもコンテストです。日本ゲーム大賞アマチュア部門で受賞することができます。

これは、東京ゲームショウも開催する産業団体CESAによる、国内最高峰のアマチュア向けゲーム開発コンテスト。500を超える応募作品中の上位5作品である優秀賞に、ゲーム総合学科3年生のチームが選ばされました。平成17年以来、東京ゲームショウに出展している当分野にとって、まさに原点といえるでしょう。



日本ゲーム大賞
アマチュア部門 受賞

映像音響分野では、特別実習です。恒例の東海高校「カヅラカタ歌劇団」公演のサポートを、今年度も実施しました。

● 映像音響分野では、特別実習です。恒例の東海高校「カヅラカタ歌劇団」公演のサポートを、今年度も実施しました。

全国の大学・専門学校が多数参加する中みごと栄冠をかちとつたのは、ゲーム総合学科の2年生ペア。そして賞金は、なんと100万円！ ちなみに準グランプリ2チームは、それぞれ京大と千葉大のチーム。一流大学をおさえての最高位ということが自体とても凄いのですが、つい賞金額の方に目を奪われてしまうのでした。

(元傭兵隊長)

顔認証したり、ゲームを解いたり。麻雀の得点を計算するものもありました。そろえた牌の写真を撮ると、役を判断したり、点数を計算してくれます。これは面白い、マジメにスゴイ！

集客数3千名にも迫る本格的な公演は、年を追うごとに注目度を高めており、同時に撮影・音響・照明・舞台スタッフを務める本校学生にも視線が向けられています。中日新聞や雑誌「ウェッジ」でも大きく取り上げられ、学生も取材を受けました。



「カヅラカタ歌劇団」の
講演をサポート

(5)

「続！大きな飛躍！！」

電気電子学科

○電気分野

今年も多くの成果がでした！

まずは今年もやりました、電験三種の取得者50名以上達成！昨年度を上回る55名となりました。エネルギー管理士は昨年に一歩及びませんでしたが、16名の取得者となりました。第一種電気工事士においても193名合格でき、昨年をこえる成果となりました。更には、電験一種6名、そしてナント!! 電験一種の合格者など素晴らしい成果を出してくれました。

また今年は、D肥先生を新しく迎え、ベテランのM橋先生と共に1年生を担当しました。ベテランの動きにしつかりとついていきながら、日々業務に励んでいます。しかし、M橋先生の臨機応変な話術をマスターするのは大変なようですが、気を緩めず全力で指導していきました。そのD肥先生を、若手のK田先生やY田先生、I佐先生がサポートしてくれおり、これらの成長が楽しみなところです。一方で、K下先生、K間先生、K林のトリプルKも頑張っていますよ。

次年度も若手とベテランががっかりタッグを組み、今年度以上の飛躍を目指していきます！

(改デンシェンマン)

○電子・通信分野

今年も就職が絶好調で、令和元年12月

に就職率100%を達成しました。2年連続年内に就職活動を終えることができました。その中で、電子情報学科では、技術系公務員に2名内定をいたしました。次年度は技術系公務員とができました。次年度は技術系公務員を希望する学生が多く、二二数年で最高数の内定をいただけるのではないかと、今からとても楽しみです。

資格取得に関しては昨年以上に好調です。電子情報学科では、第一級陸上無線技術士の取得者が現在10名います。令和2年1月期の試験でさらに3名の合格者がいると思われ、合計13名の取得者となる見込みです。2桁の合格者となるのは、ここ数年なかったことであり、次年度はさらに取得者が増える予想です。

また今年は、D肥先生を新しく迎え、ベテランのM橋先生と共に1年生を担当しました。ベテランの動きにしつかりとついていきながら、日々業務に励んでいます。しかし、M橋先生の臨機応変な話術をマスターするのは大変なようですが、気を緩めず全力で指導していきました。そのD肥先生を、若手のK田先生やY田先生、I佐先生がサポートしてくれおり、これらの成長が楽しみなところです。一方で、K下先生、K間先生、K林のトリプルKも頑張っていますよ。

次年度からIOT技術学科が新設されます。時代の変化に柔軟に対応しながら社会のニーズに応えられる技術者をこれからも養成していきます。

(デジデジ2号)

「Ene-1 2年連続入賞」

産業技術学科

今年度からEne-1がグランプリからチャレンジに名称変更されています。

この大会は充電式単二乾電池40本の電力だけで鈴鹿国際レーシングコース(5.8km)の3周完走を目標にエネルギー・マネージメントを競うものです。

参加は中学生から一般個人・企業まで可能で競技車両は100台を越えています。

大会で使用する電池は再充電ができるず1周完走する毎に主催者に預けるようになっています。

昨年は3周の合計走行時間を36分で挑戦し、時間通りに走行したためパワーアカデミー賞を受賞。今年は大学高専専門部門で3位となりました。



2018年「パリアカデミー賞」：左
2019年「3位入賞」：右



1号車(左)・2号車(右)と参加チーム



完成したテストベンチ

これから大会に挑む後輩は、この実験データを利用し、車両のレベルアップをしていきます。
(キカイダーマン)

本校の車輌は学生の手作りで、改良を重ねた24V仕様の1号車と2回目参戦の48V仕様の2号車で参加しました。

2019年度 母校のおもなできごと

新元号「令和」に変わった2019年度。求人の状況も昨年度に引き続き好調で、工学院生が先輩方同様に活躍できる場が多くありました。その場に立てるよう、在校生諸君は、資格取得、技術習得と日々努力を重ねてきました。今年度のおもな出来事をまとめてみたので、卒業生の皆さんも、学生時代を思い出しながらご覧ください。

- 7月12日 着こなしセミナー（メディア学部）
- 7月14日 CG-ARTS検定
- 7月20日 特別講演会（株）Cygames
- 7月20日・21日 第二種電気工事士上期技能試験
- 7月21日 3次元CAD利用技術者試験
- 7月22日～26日 前期末試験（9/24～30：前期末追試験）
- 7月26日 終業
- 7月27日～9月8日 夏期休暇
- 7月28日 消防設備士試験（岐阜県支部・三重県支部）
- 8月2日 （一財）上月財団クリエイター育成事業に採用される
大橋 紗貴（ゲーム総合学科）
- 8月3日 特別講演会（株）スマイルブーム
- 8月4日 エネルギー管理士試験
- 2019 Ene-1 Challenge
国際レーシングコース3周完走
1号機 大学・高専・専門学校部門 3位
2号機 3周完走
- 8月20日～9月4日 第一級陸上特殊無線技士講習会
51名取得
- 8月24日 特別講演会（株）スクウェア・エニックス
- 8月31日 第一種・二種電気主任技術者試験（一次試験）
- 9月1日 第三種電気主任技術者試験
家電製品エンジニア・アドバイザー試験
スマートマスター試験
- 9月2日 第34回マイクロマウス中部地区初級者大会（於：本校）
優勝 クラシックマウス競技
井出 敦士（ロボティクス創造学科3年）
準優勝 クラシックマウス競技
原田 崇弘（ロボティクス創造学科3年）
優勝 ロボトレース競技
長島 鮎汰（ロボティクス創造学科3年）
- 9月4日 家電製品アドバイザー試験
スマートマスター試験
- 9月8日 Pro Tools技術認定試験



- 4月5日 電波学園合同入学式
 - 4月8日 始業
 - 4月21日 春期情報処理技術者試験
 - 4月25日 第1回県人会
 - 5月11日 東海地区教育懇談会（産業技術学科）
 - 5月16日 第1回企業説明会
 - 5月17日 第2回企業説明会
 - 5月19日 消防設備士試験（愛知県支部）
 - 5月24日 献血運動
 - 5月26日 第1回工事担任者試験
 - 5月29日 避難訓練
 - 5月30日 第3回企業説明会
 - 5月31日 第4回企業説明会
 - 6月1日 東海地区教育懇談会
堀川まつりポスター採用
長谷川 陸（ゲーム総合学科）
 - 6月2日 第二種電気工事士上期筆記試験
映像音響処理技術者資格認定試験
 - 6月4日 新学生会役員任命
 - 6月6日 第1回映像音響業界学内企業展
 - 6月9日 二級電気工事施工管理技術検定
 - 6月15日 寮ボウリング大会
 - 6月16日 2次元CAD利用技術者試験
 - 6月22日 校友会役員会
 - 6月23日 色彩検定
- ◆ 教育懇談会
(県人会担当教員が各地区へ赴き保護者と面談)
- | | |
|------------------|------------|
| 6/29 静岡・松本 | 6/30 浜松・飯田 |
| 7/6 高山・金沢 | 7/7 郡上・福井 |
| 7/13 熊野・富山・石垣・宮古 | |
| 7/14 伊勢・長浜・那覇 | |
- 7月6日 特別講演会（株）125
- 7月8日 サウンドレコーディング技術認定試験
- 7月9日～12日 第一級・第二級陸上無線技術士試験



- 12月1日 第40回全日本マイクロマウス大会
優勝 ロボトレース競技
梅本 篤
(ロボティクス創造学科4年)
- 12月6日 卒業研究プレ発表会&展示会
(メディア学部情報学科)
- 12月7日・8日 第一種電気工事士技能試験
第二種電気工事士下期技能試験
- 12月8日 3次元CAD利用技術者試験
消防設備士試験(愛知県支部)
- 12月12日・13日 業界研究セミナー
- 12月16日 MBSD Cybersecurity Challenges 2019
最終審査会 出場
マイクアップセミナー
- 12月17日 着こなしセミナー(メディア学部)
- 12月19日・20日 全国専門学校ロボット競技会
優秀ヒューマノイド賞
石黒 光星(ロボティクス創造学科3年)
千原 宇史(ロボティクス創造学科3年)
- 12月20日 サンクスドリルフェス(メディア学部)
終業
- 12月21日～1月6日 冬期休暇
- 1月14日～17日 第一級・第二級陸上無線技術士試験
- 1月16日 第2回県人会
- 1月17日 卒業研究発表会(ロボティクス創造学科)
- 1月27日～31日 卒業試験(2/7～14:卒業追試験)
- 1月30日・31日 卒業研究発表会(メディア学部)
- 2月2日・3日 卒業・作品制作発表展(ゲーム・CG分野)
- 2月3日～7日 進級試験(2/17～21:進級追試験)
- 2月4日 卒業研究発表会(電子情報研究科)
- 2月14日 プログラミング競技大会(ハッカソン)
(メディア学部情報学科)
- 2月18日～21日 名古屋工学院専門学校産業技術後援会企業研究セミナー
- 2月22日 特別講演会(ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン(同))
- 3月1日 家電製品エンジニア・アドバイザー試験
スマートマスター試験
消防設備士試験(三重県支部)
- 3月4日 家電製品アドバイザー試験
スマートマスター試験
- 3月11日 茶話会
校友会賞授与式
- 3月12日 卒業式
- 3月13日 終業
- 3月15日 消防設備士試験(岐阜県支部)
- 3月16日・17日 学園総合企業説明会
- 3月22日 第24回熱田の森ロボット競技会

- 9月10日 柔道グランドスラム大阪2019ポスター採用
大橋 紗貴
(ゲーム総合学科)

- 9月12日～15日 東京ゲームショウ出展
- 9月14日・15日 東京ゲームショウ見学会
- 10月6日 第一種電気工事士筆記試験
第二種電気工事士下期筆記試験
- 10月16日 明治寮・明治北館 避難訓練
- 10月19日 東海地区教育懇談会(電気電子学科)
- 10月20日 秋期情報処理技術者試験
第34回全日本学生マイクロマウス大会
優勝 ロボトレース競技
梅本 篤(ロボティクス創造学科4年)
第3位 クラシックマウス競技
南雲 幹央(ロボティクス創造学科4年)
- 10月23日・24日 特別授業((一財)中部電気保安協会)
- 10月26日～28日 第49回名学祭
テーマ
「青空～新たな時代～～」

- 10月27日 第38回マイクロマウス中部地区大会(於:本校)
優勝 ロボトレース競技
梅本 篤(ロボティクス創造学科4年)
優勝 ロボスプリント競技 ワンメイクの部
南雲 幹央(ロボティクス創造学科4年)
第3位 クラシックマウス競技
原田 崇弘(ロボティクス創造学科3年)
- 11月1日 第1回就職支援セミナー(第2回11/2、第3回11/8)
- 11月2日 東海地区教育懇談会
- 11月9日 特別講演会(株)バンダイナムコスタジオ)
- 11月10日 2次元CAD利用技術者試験
二級電気工事施工管理技術検定
- 11月11日～12月10日 企業研究会(ゲーム・CG分野)
- 11月17日 第一種・第二種電気主任技術者試験(二次試験)
機械設計技術者試験
- 11月19日 東海地区教育懇談会(産業技術学科)
- 11月24日 ディジタル技術検定試験
工事担任者試験
- 11月26日 業界研究セミナー(株)中電シーティーアイ)

『二重への認識』

三重県支部 谷口 順一

三重の名称は、古事記にある日本武尊がこの地を訪れたとき、足が三重に曲がるほど大変だったという伝説や、鈴鹿川をはじめとする豊かな水源をさし、「水の辺り」の水を「み」、辺を「え」と発した音に由来する説など、いくつか聞く。

本校があるこの名古屋地区に関係した人で、三重県を知らぬ人などいないと思うが、知っているようで、知らない事が大変多い。いや、きっと知らないのである。反省してほしい。

私は、三重県の尾鷲地区の出身で、30年ほど前は、津や四日市ですり、とても都会で、名古屋に近接する桑名は、古い町であるものの、おしゃれで都会の風が吹いていると思いつながら生活していた。その頃、とても都会である松阪と愛知県の方から言われた一言を未だによく思い出す。「近鉄が通っていない地域など三重県ではない」。

10年ほどおしゃれな桑名の空気を吸い、20年近く、愛知県民をしている私としては、この言葉、今となつてはよくわかる。三重県は南北に長く、伊勢を貫くフオツサマグナを境目に、文化・経済・地質まで変わってしまう。

近鉄の路線も、その辺りまでとなつていて、名古屋地区から見れば、名鉄が通っていない地域、「木曽川・長良川のその向こう」が三重県であり、近鉄で行くことのできない地域など、さらに「遠方」になつてしまふのだ。



「伊勢神宮 一の鳥居」
神宮は熱田と三重の共通点

ど、成立しないと思うが、その補助記憶を支えているのが三重県である。四日市には、東芝の流れを汲むキオクシア株式会社が工場を構えており、サンディスクやWD社のフラッシュメモリをはじめとする高級フラッシュメモリを生産している。その他にも、鍵にロウソク、液晶パネル、モータ用カーボンブラシに自動販売機、ゴムホースから伊勢エビまで、国内生産のトップは三重県で、我々の生活は三重県で成り立しているといつても過言ではない。

感謝してほしい。

現在、この三重県出身の140名近い学生が本校で学んでいる。彼らの交流と就職支援を行う三重県人会ならびに、校友会三重支部を担当させていただいている。複数の分野で国内外の社会を支える三重県に人材を輩出することに微力ながら尽力し、三重県内で活躍する卒業生を増加させ、同郷の後輩を卒業生が採用する循環の実現が目標である。

まずは、その第一歩として、名古屋市コンビナートがあつて、ちょっと行くと鈴鹿サービスセンター、更に奥には伊勢神宮。気の利いた人で、その向こうに、マンボウが泳いでいて、熊野古道に年一回の熊野の花火。その程度の認識ではないか。それらを除くと、脳内に、マップの三重県の上に何が残っているのか。三重県の真実は、その程度ではないのである。



編 集 後 記

30年前。平成元年の年末に、私はオーストラリアのキャンベラにいた。

その1年前。「オーストラリアでゼロ戦の21型が、ほぼオリジナルの状態で復元された。」という記事を模型雑誌の片隅に見つけた。

その後「何處で復元されたのか」など情報収集をしたのだが、出発日になつても肝心な「場所」が分からなかつた。首都に行けばなんとかなるだろう。ということで、とりあえず渡豪した。

現地では言語という高い障壁はあつたが、聞き込み調査をする中で手がかりを見つけることができた。4日目の一月2日、私は21型の前に立つていた。その場所は Australian War Memorial Annex の巨大な倉庫の中。一般公開はしていないということで、あつたが、特別に中に入れてもいい」とができた。案内をしてくれたスタッフが、エンジンはオリジナルの「榮」だとか、塗装はスペクトル分析をして調合したとか、1時間ほど丁寧に説明をしてくれたが正直なところ、何を言つているのかさっぱりわからなかつた。でも、「戦争は不幸な出来事だったが、ゼロ戦は日本の技術遺産だ」という言葉に心を打たれた。